

高津区

橋樹歴史公園

川崎市バス・東急バス「影向寺」又は「千年」バス停下車徒歩 10～15 分

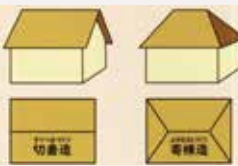


古代橋樹郡の政治・文化の中心地で  
飛鳥時代の雰囲気味わう

高津区千年423-1に所在する橋樹歴史公園は、本年5月18日にオープンしました。



板校倉造



屋根構造



茅葺

発見された倉庫群は一辺6メートル四方であり、径約30センチメートルの柱16本を使っていたことが発掘調査により判明しました。復元倉庫は、文献史料や奈良・平安時代に建てられ、今も残っている倉庫を参考に、板校倉造(いたあぜくらづくり)で復元しました。また、屋根は切妻造(きりつまづくり)を採用し、屋根材は発掘調査で瓦が発見されていないことから茅葺(かやぶき)にしました。材料は、関東近辺における古墳時代～平安時代の遺跡出土建築部材の分析から、柱はクリ、壁板・床板・扉板などはスギ、大棟(屋根の頂部)はヒノキなど、全て国産材を使用しています。木材の加工は、古代の大工道具である手斧(ちょうな)やヤリガンナを使用しています。国産の木材や古代の工法を使用することで、できる限り飛鳥時代と同じ倉庫を復元しました。

「川崎市初の国史跡橋樹官衙遺跡群を皆さんに知ってもらうために飛鳥時代の倉庫を復元しました。目に見える倉庫があることで、橋樹官衙遺跡群について理解を深めてもらいたいと考えております」と話す教育委員会事務局文化財課の石井さんは、学生時代に川崎の遺跡の発掘作業に関わっていたそうです。

皆さんも、橋樹の丘で、古代の息吹を感じてみてはいかがでしょうか。

全国初の飛鳥時代の復元倉庫

園内から倉庫が4棟発見されています。1棟は建物全体、残りの3棟は床を支える柱の一部を復元して、飛鳥時代の倉庫群をイメージしやすいようにしています。



古代、倉庫には、税として納められたイネなどが保管されました。写真右側に等間隔に並んで見えるのは復元された柱の一部です。

四季折々の植物

「橋樹」という地名の由来であり、古くから日本に自生している「大和橋(やまとたちばな)」を公園内に2本植えています。訪れた人々に楽しんでもらうために四季折々の花が咲く公園となっています。



春には桜、初夏には橋の花が皆さんをお待ちしています。

周辺の歴史さんぽ

公園周辺には、子母口貝塚や子母口富士見台古墳、橋樹神社、南関東の中でも古い歴史を持つ影向寺があり、様々な歴史に触れることができます。橋樹歴史公園に訪れた際はぜひ足をのばしてみてください。



橋樹神社



子母口貝塚(第1貝塚貝層の堆積状況)



高津区案内板は  
お散歩の強い味方です。

川崎市教育委員会事務局

生涯学習部文化財課

〒211-0004

川崎区宮本町6番地

電話 044-200-3306

FAX 044-200-3756



ホームページ

橋樹歴史公園は駐車場がないため、公共交通機関をご利用ください。

◆武蔵小杉駅・武蔵中原駅から：市・東急バス【鷺02】【杉06】【杉09】

◆⇒「影向寺」バス停下車後 徒歩約10分

◇武蔵新城駅から：市・東急バス【鷺02】【杉06】【城11】

◇武蔵溝ノ口駅・溝ノ口駅から：市・東急バス【鷺21】【溝22】

◇宮前平駅から：市バス【城11】◇⇒「千年」バス停下車後 徒歩約15分

橋樹官衙遺跡群のイメージキャラクター  
『おさまる』

